

日本語能力試験N1 「合格体験記」

～語彙を制す者がN1を制す～

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科2年生

ワイエー ジン

日本語能力試験N1に合格できたことは、私にとって大きな達成感のある経験でした。N1は日本語試験の中で最も難易度が高く、単に日本語が好きという気持ちだけでは乗り越えられない壁があると感じました。そのため、自分なりに学習方法を工夫し、計画的に勉強を進めることを意識しました。

まず、勉強を始める前に「N1に何が求められているのか」を明確にしました。文法・語彙・読解・聴解のすべてで高い日本語運用能力が必要だと分かり、どれか一つに偏らないよう、毎日の勉強内容をバランスよく組み立てました。平日は短時間でも必ず日本語に触れることを目標にし、週末は模擬試験や読解問題にじっくり取り組みました。

その中でも、私が一番大事だと感じたのは語彙力です。N1では、文章の内容を正確に理解するために、単語の意味だけでなく、ニュアンスや使われ方まで知っている必要があります。そのため、語彙の強化には特に力を入れました。私は語彙対策として、参考書を3冊使用しました。それぞれ特徴が違う本を選び、同じ単語でも説明の仕方や例文を比較しながら学習しました。

新しい単語は、ただ意味を覚えるだけでなく、自分で短い例文を作ったり、ノートに類義語や反対語を書き足したりしました。また、読解問題やニュース記事の中で覚えた単語を見つけると、「実際に使われている」と実感でき、記憶に残りやすくなりました。語彙の勉強は地道で時間がかかりましたが、続けることで読解や聴解の理解度が確実に上がったと感じています。

さらに、勉強の工夫として、間違えた問題をそのままにしないことを徹底しました。なぜ間違えたのか、どの表現が分からなかったのかを必ず振り返り、同じミスを繰り返さないようにしました。この積み重ねが、本番での落ち着いた対応につながったと思います。

N1合格はゴールではありますが、日本語学習の終わりではありません。この経験を通して、継続することの大切さと、自分に合った勉強方法を見つける重要性を学びました。これからも日本語を使いながら、さらに表現力を高めていきたいと思っています。